

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社ベッセル 福山ニューキャッスルホテル

(2) 事業所の所在地

広島県福山市三之丸町8番16号

(3) 業種

ホテル業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、2017年度（平成29年度）を基準年度とし、2018年度（平成30年度）から2022年度（令和4年度）までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

株式会社ベッセルは、経営理念「私たちはチャレンジを合言葉に、独創性に満ちた商品・サービス・情報を提供し、地域社会と感動を共有します」のもと、持続可能な社会を目指す国際指標である「SDGs」に賛同し、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

方針

- ・省エネ洗浄機の導入と活用
- ・ペーパーレス化の推進
- ・WEB会議の推奨
- ・再生紙の活用

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成29（2017）年度	令和3（2021）年度
二酸化炭素	4,481	2,303

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 29 (2017) 年度)	削減目標		目標年度 (令和 4 (2022) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2	4,481	2.5	111	4,370
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方	エネルギー起源CO2は排出量年0.5%の削減率			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 () 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2				#VALUE!			
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k 1)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	対前年比0.4%程度削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度の適正管理 ・省エネ型機器への更新
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

推進責任者(総務部長)
↓
推進リーダー(総務部 エネルギー管理企画推進者)
↓
福山ニューキャッスルホテル エネルギー管理員

(2) 実施状況の点検・評価

総務部を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、定期的に評価・見直し等を行い継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

事業所の掲示板にて閲覧する。